

受講者各位

2025 年 8 月

M46「GX を支える『新素材』あれこれ」修正点のお知らせ

JTEX（訓）日本技能教育開発センター

企画開発グループ

TEL 03-3235-8682

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は、当センターの通信教育事業をご利用いただき誠にありがとうございます。

さて、今回ご受講いただきました「GX を支える『新素材』あれこれ」(2024 年 6 月 1 日, 第 2 版発行)につきまして、テキストの記載に誤りがあることが分かりました。

お手数をおかけし大変恐縮でございますが、テキストの該当箇所に修正を施した上でお使いいただけますようお願い申し上げます。また、レポートの該当問題につきましては採点除外の対応とさせていただきます。誤記によりご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

敬具

記

【テキスト】

①p160 13～16 行目

(誤) 電源を切っても記録が …………… パソコンが普及する前の時代であり、

(修正後) 1980 年代半ば、演算速度が非常に速い DRAM と呼ばれる日本の LSI が世界市場 80%以上のシェアを占めた時期がありました。DRAM は電源を切ると記録は維持されないタイプの LSI です。

(修正理由) DRAM は電源を切ると記録が維持されないタイプであるため。

②p160 下から 1～3 行目

(誤) 日米半導体協定の …………… 痛恨の極みです。

(修正後) その後、パソコンの普及と共に電源を切っても記録が維持されるフラッシュメモリの需要が高まり、開発競争が行われました。性能を重視した日本企業に対して、価格を優先した韓国と台湾に追い越されて、日本の半導体産業が凋落をたどる結果となったことは痛恨の極みです。

【レポート】

T2 課題 1 (10)

採点除外とさせていただきます。

以上